



for MONKEY125 2022~  
(JB03)

## ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け! 高性能カートリッジフォークへ MONKEY125 をアップグレード!



TASC 内部イメージ

TASC for HONDA MONKEY125 (JB03) '22- ¥107,800 (税抜 ¥98,000) TASC MONKEY2

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工費が含まれております。TASC 施工の際に純正部品への加工が必要になりますのでご了承ください。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ¥8,580 (税抜 ¥7,800)

交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール (ダストシール、オイルシールは SKF)

### ノーマルフォークスペック

ダンピング  
アジャスター  
非装備

ダンパー  
ロッド式



### TASC フォークスペック

伸側  
ダンピング  
アジャスター

圧側  
ダンピング  
アジャスター

カート  
リッジ式  
高性能  
積層シム

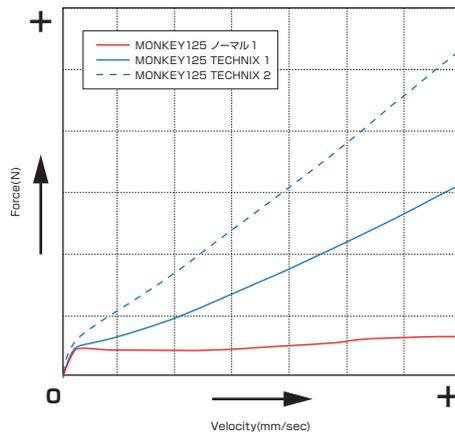
専用  
フォーク  
スプリング

前モデルに続きフォークには調整機能がなく、リニアな動きに対応できないダンパーロッドタイプのフロントフォークを採用する Monkey125。前モデルのネガ(フロントが柔らかく、トール量も少ない為、突然のフルブレーキング、急旋回には対応できない)がかなり改善され、バランスの良いサスペンションになっている。しかし Technix では Monkey125 をさらに進化をさせるため TASC キット開発。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。スプリングレートも見直し最適化を図り、ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ブレーキをしっかりと使ったライディングが可能になり。より軽快な操作性で、ストリートからスポーツ走行までの幅広いシチュエーションでワンランク上の上質な走りが可能に。

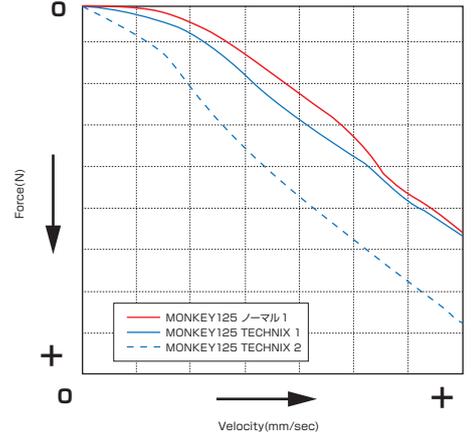


ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

MONKEY125 コンプレッションの比較例



MONKEY125 リバウンドの比較例



#### STREET Set

低速、低荷重でも乗り心地を損なわず、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセット。

#### WINDING Set

低速域ではもちろんのこと、中速域でも、しなやかでいて、動きすぎることがなくしっかりとサスペンションが仕事をしているため、積極的にバイクを旋回させるワインディング走行のコーナリング中でも前後のピッチングを抑え、自在なハンドリングを実現。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。



有限会社テクニクス 〒344-0122 埼玉県春日部市下柳 43-1 TEL: 048-795-4423 FAX: 048-795-4424 E-mail: shop@technix.jp URL: www.technix.jp

【ご注意】：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。